

2024-2025完了報告書

2024年度(2024年4月1日-2025年3月31日)活動実績暦

4月

2日(火)シーバード推進会議 日本財団、PWSA、日本青バイ隊
12日(金)→14日(日)関西ボートショー出展(新西宮ヨットハーバー)
12日(金)シーバード大洗PWC進水式(2023事業)(宮城県・大洗)

5月

8日(水)シーバード推進会議 日本財団(リモート)
16日(木)シーバード福岡シーバードデイ構成打合せ(福岡県福津市)
17日(金)シーバード豊北拠点母体体制変更に伴う確認意見交換(山口県豊北)
23日(木)UMI協議会事業協力(メディア対象のPR活動)(東京都江東区)
25日(土)・26日(日) 広島ボートショー出展(広島観音マリーナ)
28日(火)シーバードむなかた追加配備PWC贈呈式(福岡県宗像市)
31日(金)シーバード事務局PWSA会議(福岡県福岡市)

6月

1日(土)-2日(日)九州ボートショー出展(福岡県小戸ヨットハーバー)
2日(日)シーバード拠点提案事業意見交換 シーバードサーフ90藤沢
8日(土)ココヘリ説明研修／水難救済所加盟への意見交換 シーバード江戸川／富津
9日(日)ココヘリ説明研修／水難救済所加盟への意見交換 シーバード葉山
11日(火)シーバード推進会議2025年度展望 日本財団
14日(金)・15日(土)シーバード釜石 シーバードデイ構成打合せ(岩手県釜石市)
18日(木)ココヘリ説明研修／水難救済所加盟への意見交換 シーバード御前崎
27日(木)監査シーバード2022年度(大阪ヒューマンメディア社)
28日(金)ココヘリ説明研修／水難救済所加盟への意見交換 シーバードあわじ

7月

2日(火)シーバード推進事務局PWSA会議
11日(木)ココヘリ説明研修／水難救済所加盟への意見交換 シーバードとさ
14日(土)・15日(祝) マリンカーニバル神戸出展(兵庫県神戸市)
15日(祝)シーバード江戸川 シーバードデイ／追加配備贈呈式(千葉県市川市)
18日(木)ココヘリ説明研修 シーバード伊万里
24日(水)ココヘリ説明研修 シーバードにいがたPort
27日(土)拠点合同(かごしまiso、あしきた、肥後ながす、一ツ葉)シーバードデイ視察
28日(日)シーバード福岡 シーバードデイ福岡本部サポート(福岡県福津市)

8月

5日(月)シーバード2025年度展開会議 日本財団
12日(月)シーバード千代田 シーバードデイサポート打合せ(茨城県赤岩ゲレンデ)
18日(日)シーバード千代田 シーバードデイサポート シーバード館山、富津(同上)
29日(木)シーバード事務局PWSA会議 2025年度展開会議(大阪ヒューマンメディア社)

9月

- 1日(日)シーバード大洗開所式(茨城県大洗町)
- 2日(月)海上保安庁交通部安全対策課 シーバードJAPANカレッジ講演依頼・構成打合せ
- 6日(金)シーバードJAPANカレッジ会場打合せ(福岡県福岡市)
- 8日(日)拠点合同(釜石、さがえ、富津、さわら)シーバードデイ視察サポート
- 13日(金)シーバード2025年度展開事務局PWSA会議／日本財団調査対応
- 21日(土)拠点合同(館山、富津)シーバードデイ視察サポート／日本財団調査班アテンド
- 24日(火)シーバード2025年度展開事務局PWSA会議
- 26日(木)シーバードむなかた小学校屋外授業実施視察

10月

- 2日(水)第七管区訪問シーバードJAPANカレッジ講演依頼(山口県下関)
- 3日(木)福岡海上保安部シーバードJAPANカレッジ講演依頼(福岡県福岡市)
- 9日(水)WRMA今西理事長面談(都内ヤマハ発動機事務所)
- 13日(日)シーバードデイ伊万里 ミス日本協会協力／日本財団調査班アテンド

11月

- 17日(日)シーバード一ツ葉追加配備PWC贈呈式(宮崎県一ツ葉)
- 28日(木)シーバードJAPANカレッジ開催 1日目(福岡県福岡市)
- 29日(金)同 2日目

12月

- 19日(木)シーバード新拠点 神戸視察面談(兵庫県神戸市)

1月

- 13日(月)シーバード新拠点 白子視察面談(三重県鈴鹿市)
- 16日(木)日本財団調査 対応(都内港区神谷町 三菱リサーチ)

3月

- 5日(水)日本財団調査報告書 チェック校正
- 20日(木)→23日(日)ジャパンインターナショナルボートショー
屋内出展と水辺警備(神奈川県横浜市)
- 30日(日)拠点合同(あわじ、びわこワニ浜、明石)シーバードPR活動視察サポート

● シーバード人材育成
人材育成のために～特殊小型船舶免許操縦士免許取得サポート

| 人数 | 男性 | 女性 |
|-----|-----|----|
| 5 | 3 | 2 |
| 8 | 5 | 3 |
| 4 | 2 | 2 |
| 6 | 5 | 1 |
| 21名 | 13名 | 8名 |

● シーバードデイ2024

| | シーバード拠点 | 実施日 | 子ども (名) | 総参加 人数(名) | 場 所 | プログラム |
|------|----------------|-------------------------|------------|--------------|------------------------|---------------------------------------|
| | 実施35拠点 | 延べ68回 | 1224 | 2450 | | |
| 北海道 | シーバード 小樽 | 8月12日／ 22日 | 20 | 50 | おたるドリームビーチ | シーバードデイ小樽 |
| 岩手県 | シーバード 釜石 | 9月8日 | 25 | 87 | 小白浜海岸(釜石市箱崎町) | シーバードデイ ～海遊びワンデイキャンプ～ |
| 宮城県 | シーバード 気仙沼 | 9月7日 | 30 | 45 | 小白浜海岸(釜石市箱崎町) | シーバードデイ ～海遊びワンデイキャンプ～ |
| 山形県 | シーバード さがえ | 8月18日 | 30 | 50 | グリバーさがえ及び最上川 | シーバードデイ～水辺の楽校 |
| 新潟県 | シーバード にいがたPort | 7月28日 | 30 | 60 | 胎内川河口及び海岸 B&G海洋センター | シーバードデイ2024in胎内 (親子で楽しむチャレンジスポーツ夏) |
| | シーバード 佐渡 | 8月10日 | 20 | 60 | 佐和田 海水浴場 | 海フェス2024 |
| 群馬県 | シーバード 千代田 | 8月4日 | 60 | 100 | 千代田町レガッタ会場 | シーバードデイ |
| 千葉県 | シーバード 水の郷さわら | 7月14日／ 9月15日 | 30 | 50 | 水の郷さわら | シーバードデイ2024 リバーレンジャー体験会 |
| | シーバード 館山 | 9月21日 | 30 | 60 | 館山湾 | シーバードデイ館山 (たてやま海まちフェスタ) |
| | シーバード 富津 | 5月から9月の 週末と祝日 計32 | 30 | 45 | 富津岬ゲレンデ | 海でわくわく シーバードデイ富津岬2024 |
| | シーバード 江戸川 | 7月15日 | 60 | 100 | MGマリーン江戸川河川敷 | シーバードデイkン民合同水上訓練 |
| 神奈川県 | シーバード 葉山 | 9月16日 | 5 | 11 | 森戸海岸 | シーバードデイ2024 ～大人も子どもも楽しく学ぼう～ |
| | シーバード 西浜 | 6月30日 | 70 | 120 | 片瀬西浜海岸 | PWC乗船体験 @クラブ内ジュニア向けイベント |
| | シーバード 茅ヶ崎 | 6月15日／ 7月6日／ 8月3日 | 60 | 80 | 茅ヶ崎ヘッドランビーチ | 2024シーバード海の探検隊 |

| | シーバード拠点 | 実施日 | 子ども (名) | 総参加 人数(名) | 場 所 | プログラム |
|------|----------------|--------|------------|--------------|-------------------------|----------------------------------|
| | 実施35拠点 | 延べ68回 | 1224 | 2450 | | |
| 静岡県 | シーバード 掛川 | 8月25日 | 130 | 250 | 菊川河口国安海岸 | 大東クリーンフェスティバル ～シーバードデイin掛川～ |
| | シーバード 相良 | 8月24日 | 15 | 15 | 相良サンビーチ | シーバードデイPWCと ライフセービング体験 |
| | シーバード 御前崎 | 9月22日 | 16 | 24 | マリンパーク御前崎 | BIGSUPで海に出よう！ わくわくブカブカ体験会 |
| 滋賀県 | シーバード びわこワニ浜 | 8月8日 | 30 | 50 | シーバードデイ2024 | 水上オートバイ体験と水辺清掃 |
| 広島県 | シーバード 竹原 | 6月30日 | 10 | 30 | シーバードデイ2024 | 合同訓練とSUP安全講習 |
| 山口県 | シーバード コパルト | 8月29日 | 32 | 120 | ホテル西長門リゾート ～角島大橋前ビーチ | シーバードデイ2024 |
| 高知県 | シーバード さめうら | 8月25日 | 5 | 15 | 早明浦湖 | 溺れた時の上手な助けられ方 |
| | シーバード とさ | 7月21日 | 15 | 41 | 仁淀川河口左岸 | シーバードデイとさ2024 高知海洋少年団合同訓練 |
| 愛媛県 | シーバード あいなん | 8月10日 | 30 | 50 | あいなん かわうそ村海の駅 | シーバードデイあいなん2024 |
| 福岡県 | シーバード むなかた | 7月13日 | 23 | 45 | 福津市勝浦浜海洋 スポーツセンター | シーバードデイ2024 ～海辺のアドベンチャーデイ～ |
| | シーバード 新宮 | 7月16日 | 10 | 20 | 新宮海岸 | シーバードデイ 福岡新宮2024 |
| | シーバード 福岡 | 7月28日 | 90 | 300 | 福岡海岸 | ふくつ子どもビーチフェスティバル ～シーバードデイ2024 |
| 長崎県 | シーバード 壱岐 | 7月15日 | 10 | 20 | 筒城浜海水浴 | 親子 水の事故防止安全講習会 & マリンレジャー体験 |
| 佐賀県 | シーバード 伊万里 | 10月13日 | 50 | 80 | 伊万里湾 | シーバードデイ伊万里ゴミ取って遊ぶ |
| | シーバード 有明 | 6月29日 | 40 | 60 | 有明海 | マリンスポーツフェスティバル |
| 熊本県 | シーバード 肥後ながす | 10月26日 | 32 | 100 | 松原海岸 | シーバードデイ2024海を満喫 |
| | シーバード あしきた | 7月13日 | 6 | 12 | 熊本県立あしきた 青少年の家 | シーバードデイ2024inあしきた |
| 大分県 | シーバード 田ノ浦 | 9月18日 | 20 | 50 | かんたん港園 | シーバードデイ2024 |
| 宮崎県 | シーバード 一ツ葉 | 7月20日 | 100 | 150 | 一ツ葉ビーチ | シーバードデイ一ツ葉2024 |
| 鹿児島県 | シーバード かごしま iso | 7月27日 | 60 | 100 | 磯海水浴場 | 第70回清水小錦江湾横断遠泳 ～拠点連合サポート事業 |

● シーバードデイ連携プログラム

◆岩手県 シーバード釜石『3.11からの復興、海を取り戻す地元主体事業をサポート』

＜実施日：9月8日／会場：釜石市箱崎町小白浜海岸＞

海は怖くない、身近にあった海を思い出して、「そうした思いから3.11の翌年2012年から取組んできた本事業にはシーバード釜石も協力してきました。

昨年10月からシーバード拠点に呼びかけ準備してきました。台風の影響で9月1日から8日に延期したものの、さがえ、気仙沼、富津からの応援をいただき、釜石一拠点ではできなかったPWCでのロングライドが実現できました。往復30分の走行では岬を超えると明らかに変わる海の色には歓声があがるほどでした。

中学生以下32名を含む参加50名、PWC、SUP、カヌー、シュノーケリング、特製カレーランチ調理等の運営37名、総勢87名の大所帯は、地元の漁船の協力で漁港から会場のプライベートビーチの往復ミニクルーズも楽しみながら、無事終了しました。

◆福岡県 シーバード福岡『海にかかわる諸団体が参画して実現』

＜実施日：7月28日／会場：福津市福津海水浴場＞

白砂と松林が3キロ続く福津海岸にて海のワクワクと学びをテーマに18ブースのライフセイバーやマリインストラクター等、海に関わる仕事の体験(海のキッズニア)陸に海に開催！！施設内にて7つ、ビーチにて7つ、海上にて4つのプログラムを実施しました。

後援の福津市を筆頭に福岡海上保安部、宗像消防本部福津消防署、福岡県立水産高校、福岡サンセットショアラライフセイビングクラブといった安全と海にかかわる団体に加え、トヨタ自動車九州、遠賀信用金庫、ふくおかFUNイナバフォスタジオ、J-SPACEあそぼアート、うみすたじお34SEAGULLINNが海にかかわる独自のプログラムを実施しました。●運営サポート:ミス日本協会から歴代のミス日本「海の日」受賞者、山田麗美さん(2018)、属 安紀奈(2022)さん、稲川夏希さん(2023)、有馬佳奈さん(2024)

◆佐賀県 シーバード伊万里『子供たちの歓声と笑顔であふれた青い羽根チャリティ』

＜実施日：10月13日／会場：佐賀県いまりマリーナ＞

地元、伊万里市の深浦弘信市長に加え、伊万里海上保安署・古場芳樹署長をはじめ、水難救済会、小型船安全協会、関門海技協会といった海にかかわるプロフェッショナルとシーバード伊万里の隊員が連携して、恒例の青い羽根チャリティ～シーバードデイ2024を実施しました。浮遊しているゴミを拾うゲーム仕立てでのPWC体験乗船や海の生物、海の事についてのお話などで、普段はスマホゲームや室内で遊ぶことが多いという子供たちの歓声と笑顔でいっぱいになった一日でした。●運営サポート:ミス日本協会から歴代受賞が応援 安井南さん(ミス日本「水の天使」)、安藤きらり(ミス日本「みどりの大使」)、有馬佳奈(2024ミス日本「海の日」)、石村彩華さん(2024準ミス日本)

●シーバードジャパン本部 主な広報関連活動

シーバードジャパンでは2024年度広報関連事業に取組み、中長期的視点で拠点活動を支援してまいりました。

催事への出展にとどまらず、海上保安庁(管区海上保安本部、保安部、保安署)、日本海洋レジャー安全・振興協会、JCI、日本マリン事業協会をはじめとするマリンレジャーに関連する諸団体とも交流を図り、シーバード活動への理解、支援を推進しています。

●全国:拠点に対する資機材配備

シーバードジャパン活動の基本ツールである水上オートバイの配備を定期的実施しています。配備5年以上を経た劣化、損傷によって、水上オートバイが万全な状態でなく、不安を持って活動に当たらざるをえない、あるいは、荒れた海況下では活動を縮小する判断をする拠点があります。

シーバード拠点活動の生命線ともいえる水上オートバイの配備は、戦略的水域における新拠点の開設、およびシーバードデイをはじめとする事業への積極的な取組や広報活動への貢献度等を照合し、追加配備拠点を決定しています。

＜2024年度資機材水上オートバイ配備実績＞

(新規2拠点) 三重県鈴鹿市「シーバード白子」／兵庫県神戸市「シーバード神戸」

(追加配備3拠点) 千葉県佐原市「シーバード水の郷さわら」／千葉縣市川市「シーバード江戸川」／宮崎県宮崎市「シーバード一ツ葉」

●シーバードJapanカレッジ2024

《開催日:2024年11月28日(木)・29日(金)／会場:明治安田ホール 福岡県／主催:シーバードジャパン／共催:日本財団、／協力:海上保安庁交通部、第七管区海上保安本部、福岡海上保安部、ミス日本協会》本事業は2020年度より、シーバードJAPAN拠点に所属する隊員の勉強会と位置づけ、マリンレジャー、スポーツに関するコンテンツに加え、人としての成長に役立つ内容を意図し積み重ねてまいりました。

シーバードJAPANカレッジとしては、初めての1会場開催とし全拠点に出席を募った結果、北海道から鹿児島まで32拠点、41名の隊員の出席がありました。シーバード本部より活動総括、2025年度の方針説明を皮切りに、二日間にわたって安全に役立つ情報とシーバードJAPANの中期展開を視野に入れた構成として、隊員からは実り多い二日間との評価をいただきました。

(ご来賓)

海上保安庁交通部安全対策課(大井良司課長 全4名様)

第七管区海上保安本部(真部克彦交通部長 全4名様)

福岡海上保安部(高橋謙慈交通課長 全3名様)

(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会(江口 満理事長)

《主なプログラム》

1:来賓 ご挨拶:

大井良司 様(海上保安庁 交通部安全対策課 課長)

江口 満 様((一財)日本海洋レジャー安全・振興協会 理事長

／(公財)日本ライフセービング協会顧問)

2:シーバードJAPAN2024年度活動報告／2025年度活動方針

竹長 潤 NPO法人パーソナルウォータークラフト安全協会会長

／シーバードJAPAN代表

3:「水上オートバイを用いた救助技術の今とこれから」

今西淳樹 様 (一社)ウォーターリスクマネジメント協会理事長

4:シーバード拠点活動報告 【1】門谷千秋 様 シーバード福岡 代表

【2】佐々木良衡 様 シーバード釜石 活動リーダー

5:シーバード2025年度事業提案／佐藤 譲 様 シーバードサーフ90藤沢 代表

6:「海難事故の最新状況と対策」丸山恭平 様

海上保安庁 交通部安全対策課 海難防止対策官

7:「ココヘリマリン導入に向けた実証報告と今後の展望」加藤 崇 様

AUTHENTIC JAPAN (株)

8:「PWCエキスパートガイドMAPについて概要と今後の展開」長谷川 辰 様

合同会社TPSP代表

9:「クラウドファンディングの現在」熊澤 陽香 様

(株)Prodotto代表

活動を通じて明らかになった新たな課題と対応策

●人材:シーバード拠点隊員の高齢化

＜対策＞操船免許講習のサポート、シーバードデイなどで、20歳代、30歳代の新隊員獲得をサポートしています。ボートショー等の催事では、地域、一般社会でのシーバードの周知とともに催事開催地区でのシーバード隊員獲得の機会として取り組んでいます。今後さらなる強化の必要性があります。

●資機材:水上オートバイをはじめパトロール、救助に使用する資機材の劣化

＜対策＞水上オートバイの取り扱い、メンテナンス技術の向上を図り資機材のロングライフ化を心がけています。経年劣化や、活動の充実に伴う水上オートバイの追加配備は必須案件です。ボランティア組織のため水上オートバイの購入、買い替えは会費では到底賄える金額ではないため、拠点活動支援の重要項目と位置付けています。日本財団からの助成が前提の活動です。

●地域性:北海道・小樽から鹿児島、日本海、瀬戸内海などの活動環境、ライフセービングクラブ、野外活動団体、自治体、マリン事業者など活動母体もさまざまです。それらの特性に沿ったサポート、指導が必要です。

＜対策＞支部化などで地域を分轄しての部会リーダーやプログラム別の推進リーダーを育成し、拠点一任から「地区水域ごと」あるいは「事業目的」の推進が望まれます。そのためには、リーダーにふさわしい人材の獲得・育成、資金サポートが必要です。